



小須戸コミ協 通常総会開催

5月12日(土)小須戸まちづくりセンターにおいて「第12回小須戸コミ協通常総会」を開催しました。

熊倉秋葉区長をはじめ多くのご来賓を賜り、28名の自会・町内会長から代議員として出席いただきました。29年度の事業報告と決算報告並びに30年度予算と事業報告、運営委員の選任などの審議が行われ、全ての審議が承認されました。また、移住モデル推進委員会より空き家の調査協力依頼、防犯部会から飛び出し注意看板の案内、小・中学生の登下校の見守り強化の依頼等が報告されました。総会後には懇親会を開催し、多数の参加をいただきました。今年度も、安心・安全な住み良い地域づくりに取り組んでまいります。

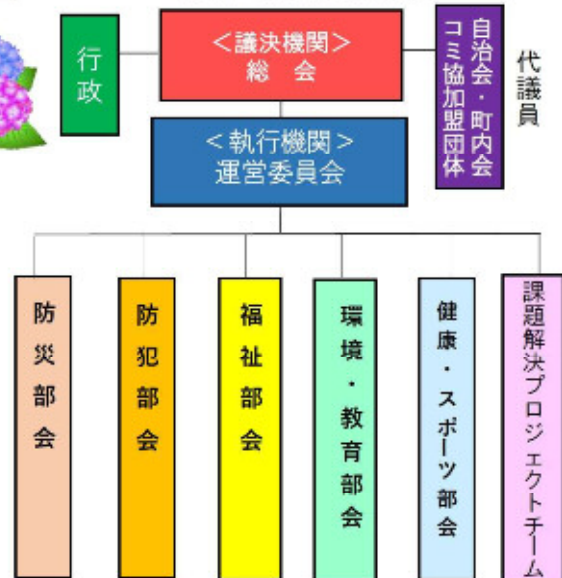


世帯人口統計 平成30年4月末日現在

	男	女	合計	世帯数
小須戸地区	2,578 (6)	2,817 (-10)	5,395 (-4)	1,924 (0)
矢代田地区	2,024 (2)	2,153 (5)	4,177 (7)	1,518 (2)
合計	4,602 (8)	4,970 (-5)	9,572 (3)	3,442 (2)

()内は前月比

<小須戸コミ協 組織図>



総会において、自治会・町内会長から次のようなご意見・ご提案をいただきました。

① 薩摩屋事業の事業規模からコミ協の事業に組み入れた内容に戻したらどうか？

② 消防団の団員が年々減少しているが、具体的な対策はあるか？

③ 防災部の視察研修は意義あるもので、今年度も計画はあるのか？

現在、部会で検討中です。具体的に決定次第、自治会・町内会長にご案内いたします。

◆30年度の主な事業計画◆

- ・自治会との懇談会(7月、12月)
- ・小須戸地区敬老会
- ・まちなか演奏会
- ・地域美化活動
- ・移住モデル地区推進事業
- ・キャンドルナイト
- ・地域安全運動
- ・ふれあい昼食会
- ・ほっとカフェ (毎週火曜日)
- ・地域の茶の間 (毎月第一月曜日)
- ・緊急情報キットの活用啓発
- ・小須戸地区クリーン作戦
- ・楽しんでECO
- ・エコキャップ回収事業
- ・福祉バス
- ・知学健康ウォーキング
- ・ポケ1スリッパ卓球大会
- ・スリッパ卓球教室
- ・ロコモ予防体操教室
- ・避難所開設、運営訓練
- ・防災研修会
- ・自主防災会の立ち上げ支援
- ・防犯ブザーの贈呈
- ・飛び出し注意看板の配布
- ・防犯パトロールの実施
- ・町屋ギャラリー薩摩屋企画運営
- ・水と土の芸術祭

<運営委員>

会長	佐藤 喜代一
副会長	八木 達雄
会計	大貫 正樹
事務局長	佐藤 芳常
防災部会長	風間 源一郎
防災副部会長	西村 紀一
防犯部会長	武田 聡
防犯副部会長	吉田 雅砂子
福祉部会長	森田 幸衛
福祉副部会長(新任)	長澤 恵美子
環境・教育部会長	白井 己致子
環境・教育副部会長	長谷川 啓子
健康・スポーツ部会長	高野 豊
健康・スポーツ副部会長	小見 健雄
運営委員	村井 豊
運営委員(新任)	藤田 尚義

会計監査 広野 準平
会計監査 森田 義昭

コミ協事業の紹介

健康寿命を
伸ばそう!



4月15日
小須戸地区
クリーン作戦

あいにくの雨の中、小須戸中学校の生徒と地域住民、企業など195名が参加して雁巻親水公園のゴミ拾いを行いました。集めたゴミはトラック1台分(150Kg)になりました。



新潟薬科大学 薬学部学生による

健康・自立セミナー

「学生が住民の健康・自立を支えるまちづくり」



6月16日(土)10:00~11:30
「くも膜下出血と不整脈」

会場:小須戸まちづくりセンター
申込不要 お気軽にご参加ください

昨年度のセミナーの様子



5月29日
ロコモ予防体操と健康チェック

5月29日まちづくりセンターで、小須戸地区スポーツ振興会主催の「ロコモ予防体操と健康チェック」が行われ、40名の参加がありました。参加者は、下越病院による血圧、血管年齢、骨密度、体脂肪などの測定と健康相談を受けた後で、ロコモ予防体操を体験しました。



血管年齢や骨密度など、普段自分ではなかなか検査できない健康チェックには、順番待ちの列ができるほどでした。



開眼片足立ち 1分間



日常生活の中で簡単にできるロコモ予防体操を教わる参加者の皆さん。

「緊急情報キット」使っていますか?



小須戸コミ協では、平成25年度に小須戸地域内の全世帯を対象として「緊急情報キット」の配布事業を行いました。これは緊急時の連絡先や、かかりつけの医者や薬の情報などを記入して冷蔵庫の中など目につきやすい場所に保管しておくものです。コミ協では今年度の事業として「緊急情報キット」の活用啓発に取り組めます。

配布からすでに5年が経過しています。ご家庭で、容器の中に入っている情報用紙の見直しをお願いします。

古紙は地域活動の財源です 自治会のゴミ収集場所に!



毎月第2・第4の古紙収集日に、自治会のゴミステーションに出された古紙の重量に対して新潟市からコミ協に奨励金が入り、それがコミ協の活動資金の一部となっています。また、それを財源として毎年3月にコミ協から自治会に「古紙回収奨励金」として1世帯当たり170円をお渡ししています。このように古紙は地域活動の大切な財源となっています。

できるだけ自治会のゴミステーションに出していただきますようご協力お願いします。